

令和8年9月3日

報道関係者 各位

大阪府藤井寺市

市制施行 60 周年を迎える 摂津市・高石市・藤井寺市が特別対談 「これまでの 60 年、これからのまちづくり」

摂津市、高石市、藤井寺市が、いずれも市制施行 60 周年を迎えることを記念し、8 月 28 日（金）に、摂津市民文化ホールで、3 市の市長による対談を実施しました。

同じ年の 11 月 1 日に市制 60 周年を迎える 3 市。摂津市、高石市、藤井寺市は、いずれも類似した人口規模を持ちながら、産業や文化、歴史遺産などそれぞれに異なる地域特性と強みを有しています。今回の対談は、3 市の市長がそれぞれのまちの魅力、まちづくりの特色、今後のまちづくりの展望などについて語り合い、次の 10 年、20 年を見据えたまちづくりへの思いを発信することを目的に企画されました。

対談では、同じ節目を迎える 3 市の市長がそれぞれの 60 年の歩みを振り返るとともに、「60 周年を迎えての所感」、「わがまちの魅力」、「これからのまちづくり」について意見を交わしました。異なる地域特性を持つ 3 市が互いの歩みや魅力、まちづくりへの考えを知り、新たな気づきを得る貴重な機会となりました。

3 市は、市制施行 60 周年をこれまでの歩みを振り返る節目であると同時に、次の時代へ向けた新たな出発点と捉え、それぞれの地域の強みを生かしながら、未来につながるまちづくりを進めていきます。



▲左から、嶋野 浩一朗（摂津市長）、
畑中 政昭（高石市長）、
岡田 一樹（藤井寺市長）

藤井寺市長 岡田一樹 コメント

テーマ1「60周年を迎えての所感」

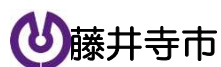
60年にわたる先人の努力と市民の皆様の支えが、今日の素晴らしいまちの姿を創り上げてきました。今年は人間でいえば還暦で、「新しい藤井寺のセカンドステージ」を迎える年として、大屋根リングの柱を活用したモニュメントの作成や、市民のアイデアを形にしたイベントなどに取り組んでまいります。

テーマ2「わがまちの魅力」

駅が3つ、高速道路のインターチェンジもあり、天王寺から電車で約15分の好アクセスという住みやすさ、世界遺産の古市古墳群をはじめ、由緒ある神社仏閣などの豊かな歴史遺産が点在しています。アイセルシュラホールには、近鉄バファローズのゆかりの品や、海洋堂の巨大な古墳ジオラマを展示しており、1階ウエルカムラウンジでは藤井寺の特産品が販売されていますので、ぜひお越しください。

テーマ3「これからのまちづくり」

市民病院跡地を活用して、認定こども園や子育て支援、健康増進、多世代交流、防災拠点といった複合機能を持つ施設の整備や、八尾富田林線沿道のまちづくりをすすめ、賑わいや利便性向上を目指します。市民の皆さまとの共創を通じて、誰もが安全に、生き活きと暮らせる「笑顔と活気に満ちた快適なまち」を実現したいです。



<http://www.city.fujidera.lg.jp>



藤井寺市は、SDGsの目標達成に向けた取り組みを推進しています。

藤井寺市は大阪府の南東部に位置し、市域面積が8.89km²と大阪府で最も小さい市ながら、鉄道の3駅や西名阪自動車道が通っており、アクセス性の高いコンパクトシティとして形成されています。市域には、世界文化遺産に登録された古市古墳群や日本遺産に登録された西国三十三所第五番札所の葛井寺などを有し、歴史資産が豊富なまちでもあります。



近年は、おしゃれな雑貨屋やカフェが増え、「なかなかのまちなか藤井寺」をキャッチフレーズにまちなか観光を推奨するなど、あらたな魅力をみせています。



【本件に関するお問い合わせ先】

大阪府藤井寺市

政策企画部魅力発信課 担当：川元、泉、鶴野

TEL：072-939-1051

E-MAIL：kouhou@city.fujiidera.lg.jp